

早稲田のいぶき

第四分科会

地域ふれあい分科会



▲「花いなり」を楽しくクッキング中です。

第四（地域ふれあい）分科会は、三つのスローガンを掲げ、活動を展開しています。

①ひろげよう
かわすあいさつ

②ひろげよう 地域の
ふれあい世代間交流

③そだてよう
明日を担う子どもたち

毎月第一日曜日、早大通りで開催の「榎ふれあいデー」も丸二年が経過し、地域のふれあいの場として定着して、毎回楽しみに参加する方も増えました。

本年度は、新しいふれあいメニューとして、調理体験を通して親子や地域の人々とふれあいながら『食』の大切さを学ぶ「ふれあいクッキング」を始めました。台所エコを取り入れたその事業の、第一回開催日のコマをご紹介します。

親子でふれあいクッキング

7月27日(日)夏休みの午後のひととき、小学生とお母さん16名が参加、榎町地域センターの調理室に時折笑い声も交じって、親子の会話が弾みます。

「わあー、細巻が太巻きになっちゃった」

「初めてのり巻きを作ったけど、キュウリの芯が真ん中に入って、きれいに巻けた」

「おいなりさん、

ご飯を詰めすぎて破れそう」

「いつもは捨てちゃうグレープフルーツの皮も、一工夫でこんなにおいしいマーマレードになるんだねー」



▲毎月第一日曜日は「榎ふれあいデー」



▲大成功!おいしくできました。

—— 楽しげに手を動かし作業する姿は輝いて見えました。

この日の献立は花いなり・のり巻き・グリーンフルーツゼリー、それにエコクッキングのマーマレードでした。

お皿に盛り付けたら、スタッフも加えての会食です。「自分の作ったゼリーの巻きはおいしかった」「思ったより簡単にできた」「夏休み中に家でも挑戦してみます」と、感想も寄せてくださいました。

わが子を見つめる慈愛あふれるお母さんの眼差しと、真剣に取り組むお子さんの瞳、笑いと語らひに出会えた一日でした。

次回のふれあいクッキングは、十一月末ごろ、一般向けに「迎春料理」と、食卓の華やぐ、祝箸袋を予定しています。

第三分科会

環境美化分科会



▲早大通り正門前の放置自転車が



▲こんなにきれいになりました。

第三(環境美化)分科会は、毎月第二木曜日の午後七時より榎町地域センターにおいて定例会を開催しております。

環境美化と一言でいっても範囲が広いので、委員がいろいろ話し合った結果、とりあえずは、いちばん身近な問題である放置自転車とたばこのポイ捨てを、何とか減らそうではないかということで行動を起こすことになりました。

放置自転車の撤去は、放置自転車をもっとも多いと思われる早大通りを中心に、そしてたばこのポイ捨て防止キャンペーンは地下鉄東西線「早稲田駅」周辺の早稲田通りで行ってきました。

地区協議会発足以来、近隣の町会の役員の皆様方の協力を得まして6〜7回ほど行動を起こしてきましたが、それなりの効果はあったのではないかと思います。

今年になってからは、新たに小規模ではありますが大江戸線「牛込柳町駅」でもキャンペーンを行いました。



▲各町会の皆さま、ご協力ありがとうございます。

昨年から協議会にも予算がつき、「やめましょうポイ捨て放置自転車」の、立派なのぼりもでき、目立つところののぼりを立て、少しでも放置自転車がなくなり、たばこのポイ捨てもなくなるように、啓発活動を行なっています。

今後とも皆様方の助言とご協力を得ながら委員一同地道に頑張っていきたいと思えます。



地域安全分科会

第二分科会では、「子どもの安全・安心を第一の重点事項とし、防犯、啓発等の活動を行っています。」

「青色防犯パトロール」という言葉をご存知ですか。青色回転灯を装備した車両を用いての自主防犯パトロールのことですが、私たち第二分科会では、この車両(通称「青パト」)を使い、榎地区の四つの小学校の下校時に合わせて、児童の帰宅の安全を見守っています。

この「青パト」を伴うことにより、犯罪抑止や地域住民に安心感を与えるという効果も期待されています。



▲これが、青パトです。覚えてくださいね。



▲早稲田小学校の前で、パトロール隊、整列!

「青パト」は防犯協会が所有している車両で、運転するには講習を受け、資格を取得します。もちろん第二分科会の防犯パトロールでは、資格を持った分科会メンバーが青パトを運転しています。防犯協会と牛込警察署にご協力をいただき、また学校の先生や保護者の方々にご理解をいただき、これからも続けていきます。

次に、当分科会は「子どもは宝」との考えから、この標語を大きく入れたポスターをパウチ加工し、地域内の掲示板に掲示していましたが、これをA4判防水マグネット仕様として車両に貼り、動くポスターとして好評を得ています。

また、防災無線を利用した、毎日2回流れる放送も、第二分科会が働きかけて実現したものです。以前は夕方に童謡が流れるのみでしたが、この積極活用を求めて、特別出張所等を介して区の防災担当部署と折衝した結果、午後2時半の放送が左記のように変わりました。小学生のかわいい声で「地域の皆さんまもなく小学生の下校時間になります。通学路の見守りをよろしくお願いします」と流れます。午後6時(10月～3月は午後4時)には従来からのおなじみの童謡「夕焼け小焼け」が流れます。

さらに、「しんじゆく安全安心情報ネット」にも当分科会から要望を出し、不審者の情報や犯罪の発生を知らせるだけでなく、事件が解決したことも知らせてもらえるように、情報の配信が改善されました。

このような活動を第二分科会が行っていますが、今後も地域の子どものために事業化できることはないか、全員でさらなる模索を続けていきます。



▲鶴巻小学校で、下校を見守っています。

まちづくり分科会

第一分科会委員・桐生さんの活動

平成20年度の新宿区環境基本計画の一つとして、

- ① 地球温暖化防止のための「みどりのカーテン」の普及
- ② ライトダウンキャンペーン
- ③ 新宿打ち水大作戦

が実施されました。

第一(まちづくり)分科会は、6月5日に榎町地域センターにおいて79名の方にゴーヤの苗(1名に2株)が配られた「みどりのカーテンプロジェクト」に協力しました。

これは1000名の方に参加していただく運動として、区内各地域で説明会が開かれ講師の方から詳しい育て方を教えていただきました。後日、栽培キット(プランター、土、肥料、鉢底石、ネット)が区より配送され、現在各家庭で大きく成長し、みどりのカーテンとなりゴーヤも実っております。

植物の蒸散作用で緑の多い所は涼しいと分かっており、はたしてゴーヤの緑のカーテンでどのくらい気温上昇を防げるかわかりませんが、参加者がこの行事を

通じ温暖化を防ぐためにどのようにエコライフに努めるか、考える一つの材料になれば良いと思います。

榎地区は緑が少なく、地形に高低差があり、ヒートアイランド現象が起こりやすいところです。住民一人ひとりが意識して、少しでも地球に優しい生活を心がけてもらいたいものです。

この運動は引き続き来年も行われる事業ですので、今年参加できなかった方は、ぜひ来年チャレンジし、実ったゴーヤの自慢話や料理教室にもお出かけになっ

てはいかがでしょうか。第一(まちづくり)分科会も、このような機会を通じて、地域住民の皆さまとのコミュニケーションを深めていければよいと思っています。



▶ お宅の緑を見せていただきました。



▶ ゴーヤだけでなく、多種多様な緑がすくすくと！



▶ 緑のカーテンが涼しそうです。



榎地区協議会への問合せ

榎地区協議会事務局 多田 TEL 3202-2461 FAX 3202-2476
〒162-0042 新宿区早稲田町85 榎町特別出張所内